

夫とは コロナでなくても 距離をとり ぐまたんさん
(58歳・自営業・度会)

今日もあしたも
元気でイキイキ!

医療と福祉の総合サポートマガジン

メディサポ

みたき総合病院

秋 2021号

三重県全域版

¥0 無料

ご自由にお持ちください

新透析棟オープン! スペシャルインタビュー

患者さまの希望を
叶えるサービス
を目指して

みたき総合病院

スペシャルインタビュー

若手ドクターに聞く

済生会松阪総合病院

スペシャルインタビュー

子どもが幼いうちから
支援を行うために

NPO法人 いる葉

ひとりひとりに合った
「はたらく」を見つける

ジョブステーションマツサカ

歯科・口腔からはじめる
アンチエイジング vol.8

田中歯科

平岡塾 健康を目指せ!
vol.7

有限会社平岡健康開発研究所

今回の表紙

みたき
総合病院

のみなさん

新連載スタート!

ここふる徒然日記

児童発達支援・放課後等
デイサービス ここふる



「なばなの里」へアゴ招待待
る組にご招待券が当たるアンケートあり

メディサポプラス

三重県内 医療機関・
介護施設・薬局 求人情報掲載中!

桑名市・いなべ市・東員町・四日市市・三重郡・鈴鹿市・亀山市・津市・松阪市・多気郡・度会郡・伊勢市・鳥羽市・志摩市 **エリア拡大中!**



みたき総合病院 新透析棟オープン!

2021年
11/1
Open
予定

新透析棟を開設にあたり、より充実したサポートを展開いたします

診療時間

月～土曜

午前7:30 開始、午後12:45 開始

※夜間透析は行っておりません。

◆受け入れ患者数 増員

最大ベッド数 97床、最大患者受入数(日) 194名

◆選択式のお弁当

メインのおかずを数種類から選択できるようになります。ボリューム食・軟飯・粥・刻み・一口大なども対応可能。1食:594円(ボリューム食:621円)



◆無料送迎サービス

ご自宅や入所施設へ無料送迎を行います。病院到着後はスタッフがサポートいたします。送迎の全車両はリフト対応に変更済み、急な車椅子のご利用も可能。送迎エリア:四日市、桑名、菟野、三重郡、いなべ・鈴鹿(一部)



◆1人1人に合わせたリハビリ管理

理学療法士・作業療法士が患者さまに合わせて専門的に対応いたします。機器類も完備し、透析治療中に行うことができます。

◆シャント管理対応

血管外科と外科の医師が対応いたしますので、ご安心ください。
対応:新規シャント手術、シャント再建術、定期的シャントエコーと造影管理、血管拡張術(PTA)

- ✓ 総合病院ならではの他科受診が可能!
必要時には、一般・療養病棟に入院することができます。
- ✓ 年1回の定期的な検査を実施
心電図・心エコー・胸部・腹部CT・頸動脈エコー・ABI(足関節/上腕血圧指数)・SPP(皮膚灌流圧測定)・口腔ケア(口腔外科医師)・栄養指導(管理栄養士)・眼底検査(眼科医師)
- ✓ 透析治療項目
HD・HDF・IHDF・特殊浄化(血漿交換)・PD(腹膜透析)
- ✓ TV、コンセント、Wi-Fiは全て無料



医療法人 尚豊会
みたき総合病院

〒512-0911 三重県四日市市生桑町菟池458-1
☎059-330-6000
<https://mitaki.or.jp/>



2021年11月に新透析棟をオープン予定の、みたき総合病院。
新しい設備や取り組みについての想いを伺いました。

人工透析を必要とする患者

さまは、全国に約35万人、年間約1万人増加しており、人工透析ができる施設のニーズは上がっています。高いニーズに合わせてさらに多くの患者さまの受け入れ、また充実した取り組みを行うための新透析棟をオープンさせることとなりました。

選択式のお弁当

ご高齢の方は栄養が偏りがちですし、透析患者さまは食事制限もあり、ご自宅で用意をしようとするのが大変というお声を伺います。そこで1食でもバランスの良い楽しめる食事が提供できたらと、サービスを始めました。お弁当を作る業者も実食した何社かのうちから選び、当院専用のメニュー作りなども一緒に考えてもらいました。

リハビリ

透析治療中に、専門職がついてリハビリを行える場所は数多くありません。

またリハビリだけですと通院が億劫になってしまう場合もあるのですが、人工透析の

患者さまの希望を叶えるサービスを を目指して

ために必ず来院いただくので、同時にリハビリが行えるのは患者さまにとっては大きなメリットだと感じます。

お弁当でしっかり栄養をとってもらい、それをリハビリで生かしてもらうという連携ができるところがポイントだと思います。



人工透析室長 渡邊 知美さん

「家から通いたい」「自分の足で歩きたい」

という強い希望をお持ちの患者さまが大勢いらっしゃいます。これらの希望を叶えるために、今回の取り組みに行き着きました。特に、リハビリとの連携はずっと前から叶えたく、文字通り走り回って実現する方法を探していました。今回やっと透析中のリハビリの実績もある丸山さんが協力してくれることになったときは、本当に嬉しかったです。ご自宅で過ごすことができるというのは、患者様にとっても大きい要素で、実際に入院したら明らかに心身ともに弱くなってしまったというケースがあります。治療をしながら、できるだけご自宅で生活を続けてもらうような体制作りを今後も目指していきたいと思っています。

リハビリテーション科 療法士長・ 経営企画室 丸山 高志さん

透析中のリハビリの効果は、これまでの経験で感じており、新透析棟でも患者さまが元気になるお手伝いができたらと思います。また当院は、理事長が現場の声を本当に重要視してくださいますので、「やりたい」「さらに良くしたい」という取り組みがスムーズにできています。理念である「地域とともに歩みます」というキーを忘れずに「地域の患者さまが喜んでくれるのは何か?」「もし自分や家族が受けるのであればどんなサービスが良いか?」と常に考えながら、サービス展開をしていきます。

